



①鈴木賢二《署名》1960年、木版、当館蔵

**工場で、田んぼで、教室で  
みんな、かつては版画家だった**

子どもの頃に版画を作ったことはありますか？  
日本の多くの学校で版画を学ぶのは、  
版画を普及させた文化運動と深い関わりがあります。  
本展では戦後日本で展開した2つの民衆版画運動を紹介。  
1つは社会運動を版画で伝え、アマチュアに版画を広めた  
**「戦後版画運動」**(1947~1950年代後半)。

もう1つは戦後版画運動から派生し、  
全国の小中学校の教員が学校教育に版画を広めた  
**「教育版画運動」**(1951~1990年代後半)です。  
これらの動きで生まれた作品には平和への願い、社会へのまなざし、  
工場や農家の仕事、田舎から都会まで様々な土地での生活が  
実感をもって刻まれています。

約400点の豊富な作品と資料を展示し、  
これまであまり知られることのなかった版画史の一側面に  
光を当てることで、戦後の開発と発展のかたわらにある  
**「もう1つの日本」**が浮かびあがってくるでしょう。

子どもの頃に  
版画を作ったことは  
ありますか？



**町田市立国際版画美術館**





## 展覧会趣旨

小学生や中学生のころ、学校で版画を作ったことはありますか？

日本の多くの学校で版画を学ぶのは、戦後の文化運動と深い関わりがあります。中心となったのは「日本版画運動協会」と「日本教育版画協会」という2つのグループ。どちらも民主主義への参加を呼びかける民衆文化運動が活発だった1940年代後半から50年代に誕生しています。当時の時代精神を背景に、版画をすることで誰もが表現の主体となることを目指しました。

「日本版画運動協会」のメンバーに強い影響を与えたのは、半植民地化された中国を憂えた魯迅が主導した中国木刻(木版画)でした。敗戦間もない1947年、中国木刻が紹介され大きなインパクトを与えると、感銘を受けた人々が各地で巡回展を開き、版画熱が全国に伝播。1949年には「日本版画運動協会」設立に至ります。主要メンバーは飯野農夫也(いのぶや)、上野誠(うえのまこと)、大田耕士(おおたこうし)、小口一郎(こぐちいちろう)、鈴木賢二(すずきけんじ)、滝平二郎(たきだいらじろう)、新居広治(にいひろはる)、油井正次(ゆいまさじ)らです。彼らプロの作家だけでなく全国のアマチュアも版画運動に加わり、労働運動、農民運動、平和運動に寄り添った作品を制作しました。同時に、当時注目された「生活綴り方(作文)」の文化運動を版画に応用した「生活版画」を打ち出し、暮らしの実相を描く作品の制作もしました。版画の複数制作の利点を生かして、社会運動の手段にも用い、また海外に作品を送って交流することも盛んに行われています。

1950年代後半に組織的な活動が途絶えた後、多くのメンバーはライフワークとなるテーマをおのの追求しました。広く人気を博した滝平の切り絵の新聞連載や『モチモチの木』などの絵本もその一つです。

一方、日本版画運動協会設立メンバーの一人である大田耕士は、会メンバーや恩地孝四郎、平塚運一らの協力を得て1951年に「日本教育版画協会」を設立。小学校教員だった経験を活かし、学校教育で版画を普及し、教員と子どもが主体の民衆文化運動を目指します。

大田は初め生活綴り方に熱心な教員に呼びかけ、学級文集の挿絵で版画を推奨します。参加教員が多様になるにつれ絵が文集から独立し、子どもたちが取材した地域の生業・歴史や民話採集を題材に、版画集・大型作品を共同制作することにも発展。紙版画などの造形の遊びを考案して幼児にもすそ野を広げていきました。この影響で1958年には版画の制作が小学校全学年の学習指導要領に加わり、汎用的なカリキュラムが出来上がると同時に、熱心な教員によるユニークな教育実践も行われ続けます。これにより教科を横断する内容と集団活動で子どもの人間形成を目指す「教育版画」という日本独自のジャンルが確立していきます。

本展では約400点の作品と豊富な資料を通して、知られざる2つの民衆版画運動の全貌に迫ります。

## 展示構成

1章 中国木刻のインパクト 1947-

2章 戦後版画運動 時代に即応する美術 1949-

3章 教育版画運動と「生活版画」 1951-

4章 ローカルへ グローバルへ 版画がつなぐネットワーク

5章 ライフワークと表現の追求

6章 教育版画運動の開花 1950年代-90年代



### 見どころ1 社会に切り込む版画

戦後版画運動の流れを通覧し、社会問題や平和運動と結びついた作品を紹介。彼らが描いた労働、平和、環境などのテーマは、現代の私たちにとっても重要なトピックです。



### 見どころ2 小中学校で版画を作るわけ

多くの人が学校で版画をつくったのはなぜか。教育版画運動の歩みを紹介し、そこに込められた思いを知ることができる初の展覧会です。



### 見どころ3 全国の教育版画の共同制作が一堂に会する初の展覧会

青森、石川、東京、神奈川で作られた共同制作大型作品(90×180cm)約20点、北海道から沖縄まで全国約35都道府県約80冊の版画集、青森の子どもたちが作った40mlに及ぶ版画絵巻など。これまで広く紹介されて来なかったものの、未来に残すべき1950年代~90年代の力作を集め、一堂に会します。

# 戦後版画運動



②上野誠『ヒロシマ三部作』より《男》  
1959年、木凹版、当館蔵



治水か 破水か

③小口一郎『鉞毒に追われて』より《治水か破水か》  
1972年、木版・ポスターカラー、小口一郎研究会蔵

平和を  
求めて

公害・環境  
問題に迫る

立ち上がる  
女性たち



④小林喜巳子『私たちの先生を返して—実践女子学園の闘い—』1964年、木版、個人蔵

権力を  
笑う



⑤滝平二郎『裸の王様』より  
1951年、木版・謄写版、当館蔵  
©JIRO TAKIDAIRA OFFICE Inc.



⑥京浜絵の会『版画集』第二集 表紙  
1955年8月、木版・謄写版、個人蔵

アマチュア  
版画サークルの  
サークル誌：  
北海道・長野・  
東京・福岡など  
全国約20グループ  
を展示

主な出品作家：飯島俊一、飯野農夫也、上野誠、海野光弘、呉炳学、大田耕士、小野忠重、景川弘道、北岡文雄、古元、鈴木賢二、小口一郎、小林喜巳子、滝平二郎、新居広治、三井寿、村上暁人、油井正次、汪刃鋒、李平凡、ケーテ・コルヴィッツ、パブロ・ピカソ

# 教育版画運動



⑦青森県八戸市立湊中学校養護学級生徒(指導：坂本小九郎)  
『虹の上をとぶ船・総集編(2)』より《天馬と牛と鳥が夜空をかけていく》  
1976年、木版、五所川原市教育委員会蔵(写真提供：青森県立美術館)

宮崎駿監督映画  
「魔女の宅急便」の  
劇中画にインスピレ  
ーションを与えました



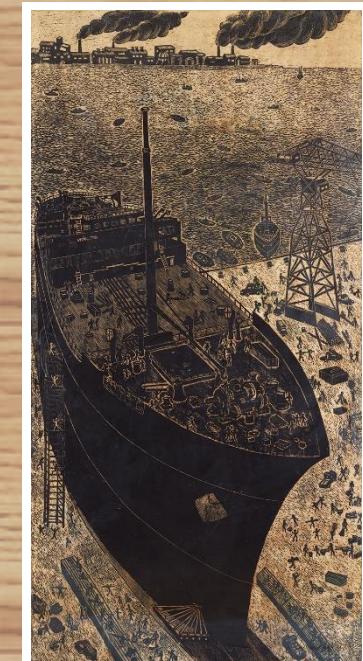
⑧魔女の宅急便  
© 1989 角野栄子・Studio Ghibli・N



⑨東京都府中市立府中第八小学校6年生20名(指導：前島茂雄)《新宿西口駅前》  
1970年、木版、府中市立府中第八小学校蔵

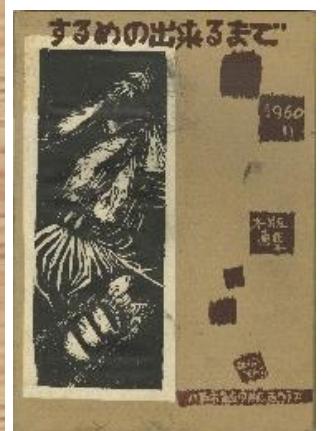
⑦⑨⑩はベニヤ板  
全判(180×90cm)の  
大型作品!!

地域を  
取材する



⑩神奈川県川崎市立東大島小学校  
版画クラブ6年生12名(指導：浪江年博)  
《造船所》  
1968年、木版、川崎市立東大島小学校蔵

働く人を  
描く



⑫青森県八戸市立鯨中学校版画クラブ  
(指導：坂本小九郎)  
《するめの出来るまで》  
1960年11月、木版、志賀町蔵



⑪石川県羽咋郡志賀町立  
下甘田小学校(指導：前田良雄)  
《版画と詩 百姓の子》  
1959年3月10日、木版・謄写版、  
志賀町蔵

民話を  
絵本に



⑬岩手県江刺市立梁川中学校2A女(指導：山内茂)  
『南部の民話版画集 絵姿女房』  
1967年12月再刊、紙版・謄写版、志賀町蔵

教育版画作品：全国約35都道府県の小中学校での共同制作・版画文集等を展示

## 関連イベント

\*中止、変更となる場合があります。  
詳しくは当館ホームページをご確認ください。



### ①版画作品募集「私も版画家だった」

小中学生、高校生の時に作った版画がおうちに眠っていませんか。  
お持ちいただいた方の作品をエントランスホールで展示します。

\*お申し出場所・特典:当館1階受付。入場料を200円割引します。  
(展示せず受付でご提示されるだけでも割引対象となります)

\*募集期間:本展会期中

\*展示方法:制作年代・制作時の学年・都道府県・作った時の思い出をキャプションに  
書いていただき掲出します。名前が作品に直接書かれているものはそのまま展示します。

\*対象サイズ:B4(25.7×36.4cm)以内(角1封筒に入るサイズ)

\*作品返却方法:返信用封筒(要住所記載、角1以内、切手不要)をお持ちください。  
会期終了後にご返送します。

\*作品はご自身のものに限りません。

\*イベントやスペースの都合で常時展示されない場合があります。

### ②トークイベント「アーティストがみる教育版画」

5月21日(土)午後2時～3時半

出演:湯浅克俊(木版画家) 聞き手:町村悠香(担当学芸員)

湯浅克俊は伝統的な木版技法で現代を捉えるイメージを発表し、  
国際的に評価されている作家です。  
近年は日本の木版版画の立ち位置を探るリサーチも行っている  
湯浅氏とともに、教育版画の魅力と独自性を掘り下げます。

会場:講堂 | 要本展有料観覧券(半券可) | 先着60名



⑭新潟県柏崎市  
立枇杷島小学校  
(指導:藤巻金一)  
《ほんがの指導  
作品・計画》1956  
年実践・3月1日、  
木版・謄写版、志  
賀町蔵

### ③子ども講座 -みてみてつくろう- 「昭和にタイムトラベル! ガリ版にチャレンジ」

5月7日(土)午後1時半～4時

講師:杉浦幸子(武蔵野美術大学文化学科教授)

企画展を鑑賞し、展示作品と同じ技法、ガリ版(謄写版)で作品をつくってみよう!

会場:講堂 | 参加費:1000円 | 対象:4月に小学3～6年生になる方

事前申込制(抽選16名)

町田市イベントダイヤル(042-724-5656)

または町田市のイベント申込システム「イベシス」で受付

募集期間:3/24～4/18(初日のみ正午から) イベントコード:220324H

### ④おはなしのじかん

芹ヶ谷公園内の「せりがや冒険遊び場」にて、  
本展で展示している絵本・紙芝居の読み聞かせを行います。

・「おはなしのじかん」 \*主に乳幼児と保護者向け  
会期中の毎週木曜日 午前11時半～  
\*気象庁から警報が出た場合は中止

・「みんなのステージ」 \*大人だけでも大歓迎です  
5月14日(土)午後2時～2時半  
\*雨天中止

会場:せりがや冒険遊び場 | 参加無料 | 申込不要

天候による実施状況など、詳しくはせりがや冒険遊び場ホームページをご確認ください。



⑮神奈川県川崎市立旭町小学校3年1組  
(指導:掛樋進)《ごんぎつね(原作:新美南  
吉)》1960年12月20日、紙版・実物版・謄写  
版、志賀町蔵

### ⑤教育映画『たのしいはなが』解説付き上映会

6月4日(土)午後2時～3時15分

版画教育を広めるために制作された『たのしいはなが』(1955年、第一映画社、約20分)  
を担当学芸員の解説を交えて上映します。

会場:講堂 | 要本展有料観覧券(半券可) | 先着60名

### ⑥担当学芸員によるスライドトーク

5月8日(日)、6月18日(土) 各回午後2時～3時

\*2回とも内容は同じです

会場:講堂 | 要本展有料観覧券(半券可) | 先着60名

### ⑦プロムナード・コンサート 「うたごえ喫茶で甦る青春」



演奏:奥村浩樹(テノール)・鶴戸西到(ピアノ)



6月19日(日)午後1時～、3時～(各回30分程度)

会場:エントランスホール | 参加無料 | 申込不要

\*新型コロナウイルス感染症対策のため入場を制限する場合があります。

## 展覧会概要



### 展覧会名

彫刻刀が刻む戦後日本—2つの民衆版画運動  
Post-War Japan as Inscribed by the Printmaker's Knife  
— Two movements in Popular Woodcut

### キャッチコピー

工場で、田んぼで、教室で みんな、かつては版画家だった  
In Factories, Rice Fields, and Classrooms; We All Were Print Artists Once!

### 会期

2022年4月23日(土)～7月3日(日) <62日間> 予定

休館日 = 月曜日

### 開館時間

平日 午前10時～午後5時(入場は4時30分まで)  
土日祝 午前10時～午後5時30分(入場は5時まで)

### 主催・会場など

主催: 町田市立国際版画美術館  
会場: 町田市立国際版画美術館 企画展示室1、2  
巡回先: なし

### 観覧料

一般900(700)円、大・高生450(350)円、中学生以下無料

( )内は20名以上の団体料金  
身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または  
精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

### 無料日

展覧会初日: 4月23日(土)  
シルバーデー(65歳以上の方は無料): 毎月第4水曜日  
(4月27日(水)、5月25日(水)、6月22日(水))

※状況により中止

### 割引

「私も版画家だった」割引、リピーター割引、ウェブクーポン割引ほか、各種割引を実施  
(詳細は当館HPに掲載)

会期中の土日祝日・シルバーデーは町田駅前から無料送迎バスを運行。  
詳しくは当館のホームページをご覧ください。

### お問い合わせ

町田市役所代表電話 042-722-3111

## 内覧会



日時 = 2022年4月22日(金)午後3時～4時半受付(閉館5時)  
\* プレス内覧会 午後1時半～2時半(予約不要)  
最初に担当学芸員が展示室を簡単に案内します。

会場 = 町田市立国際版画美術館

\* 新型コロナウイルス感染症対策のため、レセプションは開催いたしません。  
上記時間内にご観覧ください。  
\* 報道関係の皆様のご来場をお待ちしております。

## 同時開催

ミニ企画展「紙上の静物たち」  
2022年4月13日(水)～7月10日(日)  
常設展示室 入場無料

## 広報画像ダウンロード方法



①～⑮の画像を広報用にご提供します。

画像、クレジット・キャプションは  
オンライン・プレスリリースシステム「ART-PR」からダウンロードしていただきます。  
下記の本展広報専用ページにアクセスをお願いします。  
\* 初回のみご登録が必要です。

▶ プレス専用 広報用ダウンロードシステム URL  
URL: <https://www.artpr.jp/hanga-museum/postwarjapan>



\* 広報画像⑧について  
「虹の上をとび船」を含む映画「魔女の宅急便」の1シーンをご使用するにあたり、以下にご留意ください。

1. 広報画像⑦を紹介する際に使用してください。
2. 展覧会出品作品をメインに掲載し、映画画像はあくまでも「参考資料」としてご掲載をお願いします。
3. 使用の際は以下のクレジット表記をお願いします。  
魔女の宅急便 © 1989 角野栄子・Studio Ghibli・N
4. 画像の加工やトリミングはお控えください。
5. 使用料は無料です。

## お問い合わせ

町田市立国際版画美術館  
〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1  
TEL.042-726-0860(学芸係) FAX. 042-726-2840  
担当学芸員 町村悠香 広報担当 川添愛奈  
bunspo040@city.machida.tokyo.jp

